



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2640



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

夢をかたちに

CONTENTS



2008-09 年度 R I 会長
李東建



ガバナー 勝野 露観

1. ガバナーメッセージ	1~10
2. ロータリー雑誌月間によせて	11~12
3. ロータリーの友について	13
4. ガバナー補佐を務めて	14~16
5. ガバナーノミネー候補者推薦について	17
6. 新入会員紹介	18
7. 訃報	19
8. ポールハリスフェロー・米山功労者(2月分)	20~21
9. ハイライトよねやま	22
10. ロータリー文庫	23
11. 出席報告(2月分)	24
12. 4月行事予定表	25

4月はロータリー雑誌月間
(Magazine Month)

2008-2009

4

NO.10



国際ロータリー第2640地区ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁2-3 サイバーリンクスN-4ビル2F

TEL. 073-428-2640 FAX. 073-428-2643

E-mail: info@rid2640g.org

URL: <http://www.rid2640g.org/katsuno/>

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2640地区
ガバナー 勝野 露観

2640地区内の各クラブの会長・幹事さん！ロータリアンの皆さん！そして、この月信を読んで下さっているロータリアン以外の皆さん！どのように御過しの事でしょうか？

皆様に宛てて書いてまいりました私の月信も本月号を入れて残り3回となってしまいました。そう考えると、一抹の寂しさを感じざるを得ません。ロータリーと云うものを何とか理解して頂きたい、分かってもらいたいと云う一念から、今迄書き続けてまいりましたが、実のところ、私自身未だに未熟浅慮の人間であります故に、どこまで皆様にロータリーの意図するところをお伝え出来たか、不安を感じざるを得ません。

ガバナーに就任させてもらって以来、様々な人にお会いし、その話を聞かせてもらっておりまして、実に良い勉強（活きた学問）になっております。

こうして、つくづく感じるのは、人間が出来ておる人と、出来てない人の、その感性の差、その考え方の差が驚く程違いがあると云う事です。

ところで、皆様方、既にご案内の如く、今、世界中、そして、日本自体も大変動の嵐のまっただ中におるのですが、どの方向に進んだら良いのか、どの様に現実の嵐の中を生きたら良いのか、皆目分からなくなっております。一般の民衆、世間の市井の人々は、嵐が静まるのをただひたすら天に祈っておると云うのが世の今の現状であり、それしか方策が無いのでありますが、政権を担当しておる為政者、政界・官界の人達はどうかと云うと、これが一番問題であります。経済界のリーダー達、会社のトップリーダー達は有らん限りの智恵を振りしぼって、必死に、生きる方策を捜し求め、行動し、従業員達を叱咤激励しておるのですが、日本の国民の幸福の為に、今のこの大不景気を、どうかしなければならぬ立場にある政府、並びに政界の面々、並に官僚が、真剣にこの難境に取り組んでおるのかと言うと、外部から眺めるに、どうも、本当にやる気があるのかと疑わざるを得ません。彼等は、自己の属する組織の利益の為、党利党派の為ばかり熱中にやって、国民の事、日本の事など、眼中に無いと云う様相であります。

この事は、ロータリーについても言えます。ロータリーのメンバーは一般社会に生活の糧を得ておりまして、決してロータリーから得ておるものではありません。当然社会の好・不景気に多大に影響されざるを得ません。さて、世の中が上を向いておる、上昇気流の中を昇っておる時、好景気が、国全体が陽気で賑わっておる時は、国に力がある時は、トップリーダー達は少々の間違い、過ちをしても大した問題になりませんが、今日のように、世の中が下に向かって恐ろ

しい勢いで落ちて行っており、底知れぬ奈落の底に落ちて行っておる時には、トップリーダー達のチョットしたミス、考え方の間違い、方策の狂いが、すぐさまに大問題を引き起こすのです。すご腕のカリスマを持ったリーダーしかこの逆境をクリア出来ません。しからば、この如き指導者を政界・官界・経済界に見る事が出来るか、発見しえるかと云うと、はなはだ疑問であるとしかいいえないでしょう。

何故、この様になってしまったのかと言うと、結局のところ、戦後の教育体制の欠落が今になって全て吹き出しておるのでしょう。戦後の教育は自らの国、日本の素晴らしい伝統と歴史を高揚させ、自分の国を愛し誇りを持つように、プライドと誇りを持つ様に指導させたのでは無く、自らの生れた国、自分の国の欠落ばかり、悪い所ばかりを、これでもかと言うばかり、言いたててしまったのです。自分の生れた国、自分の属する民族の悪口ばかりを指導してきた結果、自分に自信を持てぬ、プライドと誇りの無い、国民を生み出してしまったのです。そして知識ばかりを高める事に重点を置き、人間を人間たらしめる精神的、道徳的教育を無視してしまっておりま。その弊害が今になってまざまざと出しておるのです。これでは、真のリーダーなど生れるはずがありません。教育体制がそうであるならば、変えるのが当然なのですが、今の政府には、その様な強い意志は皆目ありません。この如き傾向は、ロータリーに於いても顕著に現れておると思われま。ロータリーは人間教育を怠っておるとしか思えま。そもそも、ロータリーは本来『ノーブレスト・オブライジ』を大切にしておりました。即ち、人の上に立つ、高位の人間、指導的立場にあるリーダー達は当然の義務として『人々を幸福に奉仕すべき』使命を持っておる。これがノーブレスト・オブライジです。リーダーや指導者は人々に喜びを与え、人々を幸福にしなければならぬ存在であり、人民の幸福の為に奉仕しなければならぬ存在であると、世の中より認識されておりました。その故に、一般の人々はこれらの人々に尊敬と畏敬の念を抱いて接しておったのであり、彼等に与えた権力や権利は、人々の幸福を達成するために必要なものであると認識しておったのです。リーダー達は自分の私的幸福の追求だけでなく、世の中の人々の幸福を常に考えておくべきであると、考えられたのである。これは、非常に大切な物の見方でありまして、ロータリーの本質的に持っておる思考パターンなのであります。私的なものと公的なものとのバランスをとって考える、私的である、自己の幸福、利益の追求と、公的である、他者の幸福の追求は共に大切なものであり、どちらに偏っても駄目であり、バランスを狂わしてはいけな。しかし、最近のロータリーを眺めるに、自己練磨、人間育成、人間づくりを通じて幸福を追求すると云う、私的側面を放棄し、公的である、他者の幸福ばかりを追求すると云う、側面に力点を置き、重要視しておるのではないと思えま。最近のロータリーは以前に比して遥かにボランティア化しておりまして、ロータリーの最も重要な職業奉仕、ロータリーの綱領を隅に追いやり、ただひたすらにボランティア団体への道を邁進しておるのです。ロータリーのモットーである『 I serve 』はどこに行つたのでしょうか？

勿論、昔と違って今の時代は、経営者やリーダーは、当然として、社会に対する貢献（社会奉仕）を強く欲求されております。会社はその集合体としての人、即ち法人である以上、当然

会社の所在する地域の幸福・発展の為に寄与しなければ、地域社会より尊敬されぬのです。そうである故に、会社のリーダー達は社会と当然密接な関係を持たざるを得ません。この点についてロータリーは思慮を蓋してまいっておりまして、その結果が社会奉仕宣言となったのであります。

『トップ・リーダー達は社会とどう関って行く可きか?』と云う大命題、大テーマについて真剣に論議した結果、1992年『Policy Toward Community Service Activities』（社会奉仕に関する1992年の声明）となってロータリアンの前にしめされたのです。以前にロータリーは論点を明瞭し、奉仕活動に於ける理論派と行動派に於ける不一致を調和させ、よりレベルの高い本質を見つめた社会奉仕宣言（社会に対する貢献の在り方についての声明）をロータリーは採択したのですが、これは1923年の国際大会に於いて決議され、ロータリーに採択されたのです。

社会貢献（社会奉仕）に対する1923年の決議は、決議23-34と呼ばれておりまして、ロータリアンにとって、非常に大切なものであります。これをR Iが放棄しようとしたのです。この放棄に対して、日本の心あるロータリアン達が猛烈に反対をしてR Iの放棄を押しとどめさせ、決議23-34は再び日の目を見たのです。これは実に大いなる快挙でありました。そもそも、この社会奉仕宣言を放棄し、破棄しようとするR Iの流れが問題であります。今月号の月信に於いて、皆さんに社会奉仕宣言について学んで欲しいと云う私の思いから、この宣言について書いてみました。

◎ **社会貢献**—**社会奉仕** (Community Service)

今でこそ、企業の社会貢献について、日本に於いて、うるさく言われるようになってまいっておりまして、社会に対する貢献の度合いによって、会社の価値や評価が大きく左右されるようになっております。会社なり企業なりが、会社の為にいくら利益を上げ繁栄しても、それはあくまで、株主や会社の利害関係人を利するだけであって、会社の所在する地域社会の利の為には、何ら貢献するものではない。そう云う会社は地域に住んでおるが、地域社会より尊敬の対象となっていないのです。そう云う会社は評価が非常に悪いのです。こう云う考え方が最近とみに支配的になっております。

ロータリーは、最初のロータリークラブが誕生した早期の時代より、自己の地域社会に貢献することに深く関わってまいりました。各ロータリークラブの歴史は、その所在地を問わず、ロータリーの綱領(The Object of Rotary)の第3項にある『ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活(ビジネス・ライフ)および社会生活に於いて、常に奉仕の理想(The ideal of Service—他者に喜びを与えんとする考え)を適用する事』を実行に移しておるプロジェクトが数多く記録されているのです。

『ロータリアン達、即ち、各業種に於ける代表的指導者は、社会と如何なる関わりを持って生きる可きか』と云うテーゼに対する答えが、社会貢献奉仕の宣言であります。ロータリアンはロータリークラブに於いては、ロータリアンであるが、あくまで、社会の第一

線で生きるリーダーであり、或は地域社会に於いて多大なる影響力を持っているプロフェッショナル達であります。ビジネスに於いて、その事業活動に於いて、当然社会と深い関わりを持って生活しているのです。

【社会奉仕に関する 1923 年の声明】決議 23 - 34 の本文

1923 Statement on Community Service

Following statement adopted at the 1923 convention and amended at subsequent conventions:

- イ) In Rotary, Community Service is to encourage and foster the application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business, and community life.
- ロ) In carrying out this application of the ideal of service many clubs have developed various community service activities as affording opportunities for service by their members.

次の声明は 1923 年国際大会で採択され、以後の国際大会で改正されたものです。(1923 年の国際大会に於いて 34 番目に決議され、採択された声明なので、通称、決議 23-34 と呼ばれています。)

①ロータリーに於ける、社会奉仕とは！？

In Rotary, Community Service is to encourage and foster the application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business, and community life.

ここで述べられている内容が、ロータリーの社会奉仕の根本的原理であります。ロータリアンが社会に対して貢献し、奉仕する上で、或は、社会とどの様な態度で接したらよいのかと云うことに対する、先ず第 1 に取る可き基本性であります。

“ロータリアンの社会奉仕とは **ideal of service** (奉仕の理想一人々に喜びを与えんとする考え) をもって、一人一人のロータリアンが、その個人生活、ビジネスライフ、社会生活に生きる様に、勇気づけ奨励し、この考えを育成し発展させる様にする事です。”

これはロータリーの綱領の第 3 項です。

ロータリーに於ける「社会奉仕の基本的考え方」を先ず、明文化しております。**Service** 即ち、人に他者に、喜びを与えたい。人々に喜んでもらいたい。人々の幸福を心より祈る、その慈しみに充ち心が **service** の心であり、この心から、人々の為、世の為に活動する事を奉仕と言うのです。そもそも人間は、生れた時より、人々に喜んでもらいたい、他人に喜び

を与えたいと云う、善なる心を持っております。若し貴方が苦しんでおる人、悩んでいる人を助けて、その人から心より感謝され喜びの言葉をかけられたなら、貴方の心はどうなっていると思いますか！？きっと貴方の魂は感動と喜びに充ちているでしょう。貴方の魂は言葉で表現しえぬ爽やかさにあふれておるでしょう。そして命名しがたい幸福感に抱かれておるでしょう。

この「人に喜びを与えんとする思い」が **ideal of service** であり、奉仕の理想と和訳された英文の本来の意味であります。私は以後この月信に於いて、あえて奉仕の理想と和訳するのではなく「人に喜びを与えんとする思い（利他）」と和訳したい。

この「人々に喜びを与えんとする思い」を、私達の人生を生きる上での、個人生活、ビジネスライフ、社会生活を営む上での、モットーとして生きていくことが、社会奉仕をする上での私達の最も大切な原点であり、人の為、世の為に役立つ活動をする事、人の為、世の為に利益する活動をする事は、人として実に素晴らしい行動であります。この様な人は美しく輝いており、その行動は、まさに菩薩行であります。もし、人々が常にこの様な考えを持って生きておるならば、世の中は幸福で住みやすい、平和と安らぎに充ちたものとなるでしょう。

The ideal of service 奉仕の理想と云う事は、人々の幸福を心より願う思いやりと優しさに充ちた心、慈愛の心より自然に生れる感情であり思考であります。この気持ちを持ってロータリアンが日常生活をおくり、ビジネスライフを営み、社会生活をおくって下さい。世の中の人々が本当に喜んでくれる商品とはどんな物か？人々が心より喜んで受け入れて来るサービスとはどんなサービスか？人間関係に於いて、相手に喜びを与える言葉とはどんな言葉なのか？こう云う観点が『ロータリーに於ける社会奉仕の最も大切な考え方なのです。この考えを、より多くの人々が持つようにと、人々に奨励し、このパターンをより発展的に大きくしていくように！これが社会奉仕に於ける基本的態度であります。何と素晴らしい高貴な品性の高い考え方でしょうか！東洋に於ける仏道にあつては、この事を「布施行」と呼んでいます。人間は布施する事によって、自己の持つ欲望の毒を抜き浄化し、人々に布施する事によって人々に喜びを与え、自分の感謝を表現し、自分も喜びを得るのです。布施は行動による布施、物品による布施、金品による布施があり、事施（じせ）と言います。又、形のある物を布施するのでは無く、形の無い物を布施する事を理施（りせ）と言います。顔施と言施です。これは誰でも出来る布施であり、心がけさえ良ければ、誰でも簡単に出来るものです。顔施（がんせ）一即ち常に笑顔を持って人と接する事です。笑みを人に施すのです。いつもニコニコ笑っておる。どんな苦しい時、辛い時にも笑顔を忘れぬ！その明るさ、陽気さは、人々に明るさと陽気を与えます。言施一慈愛に満ちた優しい言葉、良い言葉を相手に与えることです。人は物だけで生きているのでは無い、魂で生きているのですから、魂に響く暖かい言葉は、冷たくなって冷えきった魂を暖かくしてくれるのです。人間は欲望、自己中心の考え方の網の中から離れ、脱する事によって、真の智慧を自分のものとし、心眼を開くのです。

ロ) 社会奉仕活動の実施

In carrying out this applications of the ideal of service many clubs have developed various community service actions as affording opportunity for service by their members

—
この「人に喜びを与えんとする考え」を用いて、実際に実践する（行動する）際にロータリーは多クラブのメンバーに「人々に喜びを与えんとする」機会を提供する可く、様々な社会貢献奉仕活動を生み出してまいりました。

ハ) ロータリアンとロータリーにとっての指針

社会貢献奉仕活動に対するロータリーのポリシー

この指針は非常に大切な、ロータリアンにとっての必須の指針であり指標であり、指図であります。ロータリアンの必ず学ぶ可きものであります。ロータリーの原理原則を説いておるのです。

For the guidance of Rotarians and Rotary Clubs and to formulate a policy for Rotary toward community service activities, the following principals are recognized and accepted as sound and controlling ;

ロータリアン達と数多くのロータリークラブの指針（guidance）として、そして社会奉仕活動に対する、ロータリーのポリシーを明確にする為に、以下の原理原則を、皆さん方、各クラブは健全でコントロールのきいた自制ある原理・原則と認識し受け取ること。

(I) ロータリーは根本的には人生哲学である

Fundamentally, Rotary is a philosophy of life that under takes to reconcile the ever present conflict between the desire to profit for one's self and the duty and consequent impulse to service others — This philosophy is the philosophy of service—”Service above Self” and is based on the practical ethical principle that “They profit Most who Service Best”—

- ◎ 根本的に於いて、ロータリーは人生哲学であります。この人生哲学は自己自身の利益を追求する欲求（願望）と、義務、人間としての当然なさぬ義務と本分、このなさねばならぬ本来の義務より、結果として生じる、他者、人々に喜びを与えんとする強い感情、この間に、常に生じる葛藤を解消する事を意図しているのです。
- ◎ この哲学は奉仕の哲学—自利に超越した奉仕—（超我の奉仕）哲学であります。そして、実利的であり道徳的な原理“最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。に基づいておるのです。

『ロータリーはその根本に於いて、人生哲学であります』この決議23—34に於いてロータリーは、ここに初めて、堂々と、ロータリーは単なる奉仕を目的とする為の組織でなく、人生哲学を説く組織である事を主張したのであります。

人間は、そもそも、誰でも自分が幸福になりたいと云う（自利の心）と強い欲求と願望を持っており、そして、同時に、自分以外の人々が幸福になって欲しいと云う、思いやりと優しさに充ちた本来の本分としての感情があるのです。人間には、人間としての本分（duty）として、義務として、人々の為に役に立つ人間にならねばならぬのです。その為の人々に奉仕しなければならぬです。人々の心の中にあるこの二つの心と感情、即ち自己の利を考える心と、他者の利を考える心は、相反する方向に向いておき、自己中心主義と自己中心主義を離れて、自我を消し、自己と他者の同一化を考える心』は、全く相反する心なのです。この考えは自利と利他の心であり、まさに東洋に於ける仏教の教えであります。この2つの相反する心の葛藤を解消するための手伝いとして仏教は深い愛、慈悲による救済を説き、慈悲心のみが自利と利他の間の相剋を減するのであると説いておるのです。ロータリーは当にこの仏教の思考方法と同じ方法を採用したのです。救済と奉仕とは同じ意味を内に持つ言葉であり、布施と奉仕は同意異語であります。自利と利他は同じレベルに於いては、相剋する状態に在りますが、より高い状態に自分を高める事によってその相剋を解消する。これが **Service Above Self** の **Above** です。Above はより高い状態に昇ること。より高い位置を示す意味であります。西洋における弁証法の考え方でもあります。これが自我のはるかに上に自己を置き自利に超然とした心、の態度を保つ事」の大切さを説いておるのです。『自利に超然として人々に喜びを与える』ことが超我の奉仕であります。そしてこの原理は「最も良く人々に喜びを与えたものが最も多くの利益を得る」のだと云う、現実的であり、且つ道徳的である原理に基づくものです。

—**They Profit Most Who Service Best**—この言葉は実に世の中の真実を突いた言葉であります。人々の幸福の為に最も奉仕し貢献した者が最も多くの利益を得るのです。確かにそうであり、この考えは、成功の為の考えであり、手法であります。真に成功した者、偉人達、素晴らしい経営者、リーダー達は必ず、この考え方を自分のものとしておるのです。

② ロータリークラブは？ [真のロータリークラブとは？]

ロータリーはリーダー達、指導者達が集まった集団である。

Primarily, a Rotary club is a group of representative business and professional people who have accepted the Rotary philosophy of service and seeking;

ロータリークラブは、本来、第1にビジネスに於ける代表者とプロフェッショナルの人々のグループである。そしてロータリーの奉仕の理念を受け入れる人々であるのです。そして次の4つの事柄を追求するのです。

◎ これが、本来のロータリークラブの在り方であります。先ずロータリークラブはビジネスの各業界のトップ・リーダーとプロフェッショナルの人々のグループである。そしてこの人々

はロータリーの奉仕の理念を受け入れる人々であるのです。

こう云う人々の集まりが本来のロータリークラブなのです。トップ・リーダー、指導者、様々なプロフェッショナルな人々が会員となっておるのがロータリークラブであります。

ここに於いて、会員増強は問題ではありません。質の高い会員であらねばならないのです。量の低い会員をクラブの会員とすべきではありません。

Seeking;

First, to study collectively the theory of Service as the true basis of success and happiness in business and in life;and

Second, to give,collectively, practical demonstrations of it to themselves and their community;and

Third, each as an individual, to translate its theory into practice in business and in everyday life;and

Fourth, individually and collectively, by active precept and example, to stimulate its acceptance both in theory and practice by all non- Rotarians as well as by all Rotarians

〔第1に〕『ロータリークラブはクラブとして、ロータリーの奉仕の理念（人々に喜びを与えんとするサービスの理念）が、ビジネス（事業・商売）並みに人生に於ける、成功と幸福の真の基盤（ベース）である事を学ぶ事！』

〔第2に〕『その実際例を、クラブのメンバーに提供し、メンバーの属する地域社会にも提供するように！』

〔第3に〕『クラブのメンバー一人一人がこのロータリーの奉仕の考えを、ビジネス並に日々の生活に於いて実践に移すように！』

〔第4に〕『個々のロータリアンとクラブは、このロータリーの考えと実際例をロータリアンのみならずロータリアンで無い全ての人々も、共に納得して受け入れるようにする為に、この現実的教訓を大いに説き、その成功の実例を示す事をなすように！』

以上の4つの事柄を実行に移すのがロータリークラブの在る可き姿であります。真の成功と幸福を手に入れる方法とその実際例をロータリークラブはクラブとして、個人のメンバーとして、学ぶようにすべきであると説くのです。

ロータリーは真実の成功と真実の幸福を獲得する方法を説くのです。そして各ロータリークラブに於いて、会員はそのための考え方と手法を学ぶのです。これがロータリーである。皆さん！ロータリーの社会奉仕声明について学んでまいりましたがどうです！ロータリーが少しは御理解していただきましたでしょうか？ロータリーの本来の目指す方向と目的をこの様にわかり易く書いてあるのは、この決議23—34しかありません。ロータリーの教えの素晴らしさを今こそ世の中に伝えなければなりません。そして会員の皆さん方、一人、一

人が現実にはやってみて下さい。皆さんの会社に於いて、家庭に於いて、社会生活に於いて実行に移して見て下さい。

(来月号に続く)

- ◎ さて、いよいよ今月の25日26日に当地区最大の事業であります、地区大会が開催されます。登録された方々は必ず出席して下さい。登録して、そのまますぐに会場を去ると云う様な事はしないで下さる様に御願い致します。
- ◎ また26日(日)の最終に懇親会を準備しております。まだ、何の出欠報告も無いクラブが数多くあります。ガバナー補佐の皆さんより各クラブの会長・幹事宛に出席の要請が行っておる事と思いますが、各クラブより必ず数人は御出席下さる様に御願い申し上げます。

リーダー(指導者)について = 「Think and Grow Rich」ナポレオンヒルより

リーダーには2通りのタイプがある。1つは部下の尊敬と理解を集めるタイプのリーダー。もう1つは尊敬や理解なしで、権力を振るおうとするタイプのリーダーである。今までの世界の歴史を見るに、権力に基づいたリーダーシップが長続した例は無い。独裁者や専制君主は必ずその地位を失墜している。これは、人々は、強圧的なリーダーシップの持ち主にはついて行かない、と云う事の証拠であります。

ナポレオン、ムッソリーニ、ヒトラーなどは強圧的なリーダーだった。したがって、彼等は皆な惨めな末路をたどったのです。長くリーダーでいる為には、部下よりの支援が必要なのです。力づくのリーダーシップの持主には一時的に従う者がいるかもしれない。だが、それは喜んで従っているのではない。

リーダーになる為の11の重要な条件

1. 「ゆるぎない勇気をもっていること」
勇気は自分自身の知識と経験によって裏付けられるものだ。人は自信と勇気のないリーダーにはついていけないものです。
2. 「セルフ・コントロールの能力を持っていること」
自分をコントロールできない人が他人をコントロールできるはずが無い。
3. 「強い正義感を持っておくこと」
リーダーに公正な心、正義感が備わっていないと、部下や周囲よりの尊敬を集める事が出来ない。
4. 「強い決断力をもっていること」
決断力の無い優柔不断な人間は信念のない人であり、無責任な人であり、責任を負いたくないという逃げの精神の持主なのです。
5. 「計画性を持っていること」
目標をしっかりと設定する人である。
6. 「報酬以上の仕事をする習慣の持主」
7. 「明るい性格の持ち主である」

8. 「思いやりと理解力の持主であること」

9. 「詳細を認知していること」

優れたリーダーになる為には、リーダーとしての立場に関する事を詳細にわたって知っておかねばなりません。

10. 「責任感の持主であること」

優れたリーダーと云うものは、部下の失敗や欠点についても責任を取れる人でなければなりません。責任から逃がれようとする人は、リーダーの地位を返上すべきです。部下が過ちを犯しても、また能力や能力が無いとわかって、それは自分のミスとして考える人間でなければならぬ。

11. 「協調性があること」

リーダーは協調と云う言葉の真の意味を理解し、実践しなければならない。また部下にもその事を徹底させなければなりません。優れたリーダーである為には力が必要だが、その力を得るには協調が必要です。

以上、新しいタイプのリーダーの条件を 11 項目にわたって紹介致しましたが、優れたリーダーになる為には、これ以外にも更に重要な条件があります。以上の 11 の条件を備えたリーダーだけがチャンスに恵まれて成功と幸福の道を進んで行けるのです。更に重要な条件とは、ロータリーに於ける **the ideal of service** を持っておることです。

幾度も言いますが、ロータリークラブはリーダーとプロの集まった組織であります。以上、真のリーダーとなる為の条件は当然知っておく可き必須の事柄であると確信しております。ぜひ、素晴らしいリーダー、部下や周囲より信頼され尊敬されるリーダーになって下さい。

— 終了 —



「ロータリーの友」読書への挑戦

——雑誌月間にちなんで——

地区広報雑誌委員長

川村 克人（有田RC）

わたくしは生来ズボラなものですから、「ロータリーの友」はそんなに簡単に読みこなせません。概ね反省と悔悟の毎月です。

挑戦などというとは軽蔑されそうですが、雑誌月間を迎えて、今年こそはの思いからこのような大げさな表題を掲げ、「友」の良さをもう一度自分に言い聞かせてみることにいたしました。

1. 孔子に学ぶ・・・ヨコ記事とタテ記事

孔子曰く「学んで思わざれば即ち罔く、思つて学ばざれば即ち殆し」＝学問をしても自分で考えて見なければ真理は掴めないし、いろいろ自分で考えても学問をしなければ独善となり危険である。

この孔子の論語は、数年前当時の渡辺隆「友」委員会委員長が、私たちが「友」の地区委員を拝命した時、「友」のヨコ記事、タテ記事を偏らずに読みなさいと諭しの例として述べられたものです。

なるほどと深く感銘を受け、出来るだけそれに努めてみました。

2. 「友」は高い品位と格調——だが安易には読みこなせない

「友」はしかし、寝転んで気楽に読めるほど安易な書物ではありません。後でじっくり読もうと思ううちに次号が来てしまうのが通例です。

1991年、世界中の公式地域雑誌のなかで「RI会長総合優秀賞」いわゆるグランプリを貰った位の雑誌ですから、たしかに素晴らしい。

編集方針よし、写真も綺麗、投稿部分も工夫され多彩、俳句など投句の選者も超一流と、すべてに行き届いています。

三種の神器になぞらえてロータリアンの行動3原則、1)「友」読破 2)奉仕活動実践 3)例会出席 と称されるのはむべなるかなで、それだけ重くまた読み甲斐ありと考えています。

3. 「理念性」・「記録性」は抜群——速報性・検索性はITに譲って

この10年間で、ウェブサイト情報は驚異的に進歩しました。

昔、RIテーマとロゴは、ガバナーエレクトがガバナー研修を終えて、地区協議会で厳密にご披露されたようですが、今は研修会初日に発表されるやいなや全世界に瞬時に広まる時代となりました。

唯一の総合的内部広報の源であった「友」もまた、時代とともに変化しなければなりません。ニュース速報性、通信性などはウェブサイトに譲り、「友」雑誌は「論理」「理念」という最も骨格をなす分野と、「記録性」や意見の交換をみる「討議性」に重点が置かれることになるでしょう。これは、じっくりと読解しながら考えてみることであり、この機能はパソコンでは得難い「友」の重要機能と思います。

4. 「友」は真正面から挑戦するのみ(王道を行く)・・・みんなで渡れば道は開ける

読書はすぐれて個人主体です。

しかし、ロータリーは同志の集団です。この強みを活用しない手はない。

「友」を毎月例会で説明し、思潮の流れを認識し関心を喚起することが、必須条件と考えます。

雑誌広報委員長のところには前もって「友」が送られて来ます。委員長が事前に読み通し、例会で説明されるのはミニマム必要条件でしょう。それが肥やしとなり、新しい奉仕プログラムが芽生え、「友」に投稿して活字の記事になってフィードバックされた喜びはまた格別です。それからのレベルアップは個人次第でしょう。

私は、ロータリーの友は、「ロータリーの理論支柱」と考えます。娯楽紙ではなく「哲学」と「理論」を学ぶツールです。その位置づけのもとに、「友」に真正面から挑戦することが「友」と親しくなる一番の早道と、やっとこの頃気付きました。

前述の通り、毎月の例会で説明を聞いて、みんなの力で読書意欲を鼓舞して頂き、あとは「面白くなくても読まねばならぬ」と、決意を固めて挑戦いたします。

・・・来年の今頃、全く同じ心境で再挑戦かも知れません。或いは昭和28年

「友」創刊以来、言われ続けて数十年かも知れません。しかし「友」はいつまでも、我々になくってはならない良き伴侶です。

以上

「ロータリーの友」について

ロータリーの友地区委員 山口 正眞

早いもので、「ロータリーの友」地区委員に推挙せられてより、10ヶ月が過ぎ去りました。地区委員として指名を頂いたのが、今から2年前であります。その節ロータリーに関して、まだまだ未熟の身でありまして、何も分かっておらなかったのですが、普段より勝野 DG より「何事も前向きに物事をやっていかなければならない」また「様々な体験をしなければ本当のことが身につかないし、度量の大きな人間になれない」と教えられてまいりました。「地区委員になれば、日本各地の地区委員の方々との交流でき、親しくなれて楽しいものだよ」と言って頂きました、故に「ロータリーの友」地区委員を喜んでお受けいたした次第です。しかし、後で分かったのですが、地区委員の中には、クラブの会長経験者、地区の各委員会の委員長経験者が多いということを知り、この様な人たちとうまくやっていけるのだろうかと一抹の不安を感じたものでした。しかし、ガバナーより「貴方は神様から認められている人間だから～」というお言葉を支えにし、胸中に秘め、何事に対しても自信を持ってやって行こうと頑張っておる昨今です。

また、“地区だより”を各クラブに配信させて頂いておりますが、是非とも地区の各クラブのメンバーにお読み願いたいと云う私の気持ちから、“地区だより”の中に「是非お目通し頂きたい記事」として「ロータリーの友」よりその箇所を掲示させて頂き、且つ又同時にウェブサイトの中より皆さんに有益であろうと思う文を引用させて頂いて発行しております。様々な形で各クラブに沿ってご利用いただいております。

卓話の際に雑誌広報委員長が、“地区だより”を声を上げて読んでおられる。又、プリントをして各メンバーに配布されておられるクラブもあるとか。

今後の課題は、『どの様にすれば皆様に RI 公認機関紙「ロータリーの友」を読んで頂けるか』。『ウェブサイトを見ていただけるか』であります。

この課題に向かって取り組んで行く所存であります。

引き続きご支援のほどをお願い申し上げます。



「ガバナー補佐に就任して」



IM3 組 和歌山中RC 南方 淳一

一昨年秋、IM3 組担当のガバナー補佐に推薦され、なにも解らないままにロータリー精神で直ぐに受諾しました。

さてどういう仕事をするのやらと思っていた所、間もなく第 1 回事前会議の招集があり、和泉府中へ出向きました、そこで勝野ガバナーエレクトから補佐としての役割をいろいろとご教示して頂き、初めてその責任の重さを感じました。

私自身はロータリーに 23 年間在籍して自クラブでは殆どの役職を経験させて頂きましたが、地区では委員長会議、PETS 以外は出ていませんのでどうなるのやらと心配しましたが、とにかく手続要覧を読むことから始めましたが余り面白いものではないので要点のみの拾い読みでした、その過程でロータリーのことが少しは解ってきたような気になり、その文言にも興味を持ち始めました。

今年度が始まり地区協議会の後、担当の 5 クラブの訪問を始めましたが、幸いにも IM3 組は全部和歌山市内ですので、どのクラブを訪問しても多くの友人、知人が在籍されていて非常に気が楽でした。

自クラブのことしか知らなかったのが、創立 70 年の歴史あるクラブから 10 数年の若いクラブまで、それぞれ特徴の持ったロータリー活動を続けられているのに感動を覚えました。

年度の前半は殆ど毎週 1 回のペースで和泉府中へと、クラブ訪問へと多忙を極めました楽しく、かつ勉強させて頂いています。

未だガバナーの言われる起承転結の結の 3 ヶ月が残っています、後は地区大会を成功裏に終われるよう、残りの任期を精一杯頑張ります。

ガバナー補佐を務めて



I M 3 組 和歌山城南 R C 浦 武宏

私の場合、ガバナー補佐になるとは夢にも思っていませんでした。

重い腰をあげて引き受けたのは1月になっていました。すでにガバナー補佐研修会が始まっていた。その上4月に約1ヶ月アメリカに行かねばならない用があったため、殆ど準備らしい準備も出来ずにスタートすることになりました。しかし、私が担当させていただいた和歌山東・和歌山南・和歌山北RCは素晴らしいクラブで私のロータリー歴の中で最も良い学習の機会を与えてくれました。今年50周年を迎えた和歌山東RCの「ロータリーの魅力再発見」30周年を迎えた和歌山北RCの「夢をかたちに、ロータリーの愛と情熱を」というテーマは、今日ロータリーに最も求められている課題を的確に捉えたテーマであり、和歌山南RCの「ミャンマーの邦人医療ボランティア団体への支援プロジェクト」など意欲的な活動に感心いたしました。

すばらしい勉強をさせていただきましたが、ガバナー補佐としての役割は殆ど出来ていません。しかし、地区の役員のみなさんや、I M 3 組の会長・幹事さんたちの暖かい友情に支えられ今日まで過ごせたことに深く感謝しています。



楽しきかなガバナー補佐

I M4 組 粉河 R C 田中 東亜男

楽しませていただくとう心に決めてのガバナー補佐でした。まさに楽しくです。

1. 挨拶を交わす楽しさ。お互いがロータリアン、のそれだけで親しみの眼差しを交わせる。まさにオイと呼ぼう、手を振りあおう、の世界そのものです。
2. 学ぶことの楽しさ。ロータリーを学ぶ事によって、日ごろ考えていることが言葉で整理されてゆく喜びでした。
3. 学びの場に出席できる楽しさ。地区各委員会、東京でのロータリー研究会、女性ロータリアンの集い、等々日ごろ経験の出来ない場の雰囲気体験できました。
4. ヨイショに乗る楽しさ。ガバナーとは異なり責任の無い気軽さで、補佐として遇されることの心地よさであります。

各ロータリアンの優しさに深謝致します。



国際ロータリー第2640地区
クラブ会長・会長エレクト 各位

国際ロータリー第2640地区
ガバナー 勝野 露観

地区ガバナー・ノミネー候補者推薦について

拝啓 春暖の候、ますますご清祥のことお慶び申し上げます。

日頃、地区運営につきましては、一方ならぬご尽力を賜り有り難くお礼申し上げます。

さて、当地区のガバナー候補者推薦につきましては、従来より各クラブからの自発的推薦を待って該当候補者につき指名委員会が審議を行い、的確と思われる候補者をガバナー・ノミネーとして指名してきましたが、広く人材を求めるべく、R I 細則 13 条 2 節 3 項により、ガバナー候補者の推薦を地区内各クラブに要請することとなりました。

つきましては、下記により 2011-12 年度国際ロータリー第 2640 地区のガバナー候補者をご推薦賜わりたく、お願い申し上げます。 敬 具

記

地区ガバナー候補者の資格要件として下記の各項が要求されますが、詳しくは、2007 年度手続要覧をご参照下さい。

- (1) 瑕疵なきロータリーアンであること
- (2) 完全に会員資格を有する者
- (3) 瑕疵なきクラブに所属していること
- (4) クラブの元会長であること
- (5) ガバナーの任務を遂行できる能力のあること
- (6) 選出時点でクラブ会長を全期務めたことのある者
- (7) ガバナー・ノミネーの資格に加え、ガバナーは、就任の時点で、一つまたは複数のクラブで通算7年以上の会員であること

ガバナー候補者推薦状は、R I 細則 13 条 2 節 3 項をご参照の上、クラブ例会で採択された決議の形で、クラブ幹事が正式に証明した文書をもって、2009 年 6 月 20 日迄に地区指名委員会宛（ガバナー事務所内）へご提出下さい。

送付先 〒640-8215
和歌山市橋丁23 サイバーリンクスN-4ビル2F
ガバナー事務所内 地区指名委員会

以 上

新入会員紹介

2 月



さの ゆか
佐野 結果

所属クラブ：高石RC

職業分類：料理店

生年月日：—



にしおか やすひろ
西岡 恭弘

所属クラブ：河内長野東RC

職業分類：酒類販売

生年月日：1961年2月8日



こじま わたる
小島 渉

所属クラブ：和歌山城南RC

職業分類：神職

生年月日：1953年11月1日



訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



ふくだ さだお
福田 貞夫様 (新宮RC)

2009年2月11日死去

在籍期間：44年

職業分類：時計・貴金属販売

ポールハリスフェロー：

ポール・ハリス・フェロー

米山功労者：米山功労者

生年月日：1929年11月1日



ふじき たけし
藤木 健様 (河内長野RC)

2009年2月15日死去

在籍期間：12年2ヶ月

職業分類：不動産管理

ポールハリスフェロー：第1回(PHF)

米山功労者：第1回米山功労者

生年月日：1930年6月22日

PHF・ベネファクター（2月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
在塚 正治	1	有田	渭東 祥晃	3	堺清陵
木下 敬之助	1	有田	北浦 信	BE	泉南
杉本 佳謙		藤井寺しゅら	平島 とし子	1	泉南
山尾 利行	1	藤井寺しゅら	大前 嘉助		新宮
谷口 卓司	BE	御坊南	葉山 茂俊	BE2	太子
宮崎 勝		羽曳野	中松 村夫	1	田辺
柿原 尚人	1	阪南	土井 彰	BE	富田林南
辻 芳昭	1	阪南	岩本 行弘	BE	富田林南
南 秀樹	1	阪南	市川 晃	2	和歌山
曾和 寛		橋本紀ノ川	井手 幸男	3	和歌山
山下 輝		橋本紀ノ川	寺下 俊雄	2	和歌山
横田 英麿	2	橋本紀ノ川	湯川 進	1	和歌山
深阪 好孝	5	和泉南	井上 晴喜		和歌山アゼリア
藤原 政信	3	和泉南	小門 蔦子	2	和歌山アゼリア
藤原 進	1	和泉南	加藤 裕司		和歌山東
酉家 進	BE	和泉南	嶋 弘伸		和歌山東
今井 章三	3	泉大津	浦 武宏	2	和歌山城南
浜本 俊朗	BE	泉大津	山本 好信	2	和歌山城南
川崎 晃生	1	貝塚コスモス	小野 正克		和歌山南
中井 義尚	大口	岸和田東	野上 茂樹		和歌山南
大石 武徳	4	岸和田東	中村 和子		和歌山南

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
矢倉 奈採	1	串本	吉田 博信	6	和歌山中
森岡 一朗	3	那智勝浦	寺坂 義章		和歌山西
富永 泰示	BE	堺南	青木 敏	4	和歌山東南
吉野 惣太	6	堺泉ヶ丘	角谷 泰三	2	和歌山東南
楠 玲子	1	堺フェニックス	溝落 和作	1	和歌山東南

数字はマルチプルの回数 BEはベネファクター

米 山 功 労 者 (2月分)

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
古川 桂三	3	有田	野志 幸生	3	和歌山
河合 淳	5	有田	内藤 恭子	9	和歌山アゼリア
木下 敬之助	2	有田	澤本 栄子	3	和歌山アゼリア
栗原 益男	3	有田	成瀬 宏司	1	和歌山南
井阪 知義	4	泉大津	土屋 一博	3	和歌山東南
木地 義和	4	海南東			

ハイライトよねやま 109号

(財) ロータリー米山記念奨学会ニュース

++ 今月のトピックス ++



2009年3月13日発行

1. 寄付金速報 — 下期の寄付、先月と同様に健闘 —
2. 学友会がまた新たに誕生！ — 第2620地区 —
3. 台湾学友会が日本人対象の奨学金制度を設立
4. 音信が途絶えた学友との再会
5. 米山学友の Jisong さんがCDデビュー

文庫通信 (259号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

各地区ガバナー月信より

- ◎ 「ようこそロータリーへ」 濱田五左衛門 (D.2800) 2009 3p
- ◎ 「例会とロータリーの原理原則」 安孫子貞夫 (D.2800) 2009 1p
- ◎ 「ロータリーの根本を考える」 井上暎夫 (D.2660) 2009 3p
- ◎ 「Stigma 恥辱の烙印」 塚原房樹 (D.2510) 2009 2p
- ◎ 「職業と奉仕」 近藤雅臣 (D.2660) 2009 2p
- ◎ 「ロータリーの職業倫理訓逐条解説(7)～(9)」 青木伸翁 (D.2770) 2009 3p
- ◎ 「識字率向上は世界平和への道」 諏訪昭登 (D.2710) 2009 2p
- ◎ 「『ロータリーの森』とその後」 好川嘉則 (D.2650) 2009 1p

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

ロータリー文庫

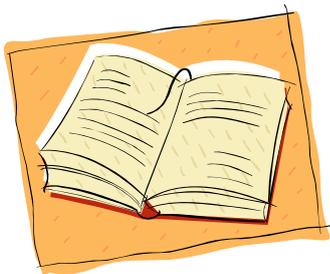
〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日



第2640地区 出席報告 (2009年2月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例 会 数	2月 出 席 率	平 均 出 席 率	クラブ名	会員数		入会		退会		例 会 数	2月 出 席 率	平 均 出 席 率
	08.7.1	2月末	2月	累計	2月	累計					08.7.1	2月末	2月	累計	2月	累計			
有 田	36	36	0	0	0	0	3	95.89	89.67	大 阪 狭 山	5	5	0	0	0	0	4	95.00	84.80
有 田 南	33	32	0	0	0	1	4	100	97.76	りんくう泉佐野	27	27	0	2	0	2	3	71.72	75.44
有田2000	16	14	0	0	0	2	3	90.48	84.89	堺	79	79	0	2	0	2	4	87.08	87.39
藤井寺しゅら	16	16	0	1	0	1	4	92.20	91.30	堺 東	32	34	0	2	0	0	4	97.44	98.03
御 坊	53	53	0	1	0	1	4	94.57	92.56	堺 北 西 南 西	19	18	0	0	0	1	4	74.99	74.30
御 坊 東	20	20	0	0	0	0	3	90.00	87.55	堺 泉 ケ 丘	20	21	0	1	0	0	4	97.62	96.09
御 坊 南	28	28	0	1	1	1	4	84.60	85.15	堺 北	36	38	0	2	0	0	4	77.26	80.82
羽 曳 野	27	27	0	4	0	4	3	73.90	83.89	堺 南	33	31	0	0	0	2	4	77.68	83.83
羽 衣	22	23	0	1	0	0	0	90.21	90.73	堺 中	26	27	0	2	0	1	3	72.00	69.58
阪 南	13	13	0	0	0	0	3	100	99.67	堺 西	22	21	0	2	0	3	4	90.63	84.61
橋 本	54	53	0	1	0	2	4	92.02	91.09	堺おおいずみ	30	32	0	2	0	0	3	85.42	84.10
橋本紀ノ川	20	20	0	1	0	1	4	85.00	88.31	堺フェニクス	22	24	0	2	0	0	4	80.25	78.07
岩 出	28	28	0	0	0	0	4	92.86	92.49	堺 清 陵	24	22	0	0	0	2	3	95.00	95.04
和 泉	39	40	0	2	0	1	3	80.56	84.50	堺 泉 北	10	10	0	0	0	0	4	84.50	85.10
和 泉 南	33	34	0	1	0	0	4	58.82	63.89	堺 東 南	12	12	0	2	0	2	4	100	90.04
泉 大 津	50	51	0	1	0	0	4	79.89	77.55	泉 南	18	19	0	1	0	0	4	88.24	88.22
泉 佐 野	37	35	0	1	0	3	4	92.86	89.11	新 宮	57	56	0	2	1	3	3	85.19	84.15
海 南	45	42	0	0	0	3	3	71.43	70.53	白 浜	15	15	0	0	0	0	4	88.47	92.46
海 南 東	68	68	0	2	0	2	4	80.15	80.70	忠 岡	13	12	0	0	0	1	4	56.82	61.54
海 南 西	22	21	0	0	0	1	4	82.38	83.90	太 子	9	12	0	3	0	0	4	77.26	82.51
貝 塚	19	17	0	0	0	2	4	100	96.50	高 石	29	29	1	1	0	1	4	74.77	75.15
貝塚コスモス	21	21	0	0	0	0	3	90.49	87.56	高 師 浜	20	19	0	0	0	1	4	83.34	86.93
関西国際空港	32	31	0	0	0	1	4	75.00	71.52	田 辺	87	86	0	0	0	1	4	86.67	88.53
河 内 長 野	29	29	0	1	1	1	4	81.30	77.50	田辺はまゆう	36	33	0	2	0	5	4	73.49	77.89
河内長野東	27	30	1	4	0	1	3	86.96	85.95	田 辺 東	50	47	0	0	0	3	3	83.33	85.07
岸 和 田	51	47	0	2	1	6	3	81.40	79.87	富 田 林	34	34	0	0	0	0	4	71.15	82.28
岸 和 田 東	54	55	0	3	0	2	4	89.50	93.08	富 田 林 南	21	21	0	1	0	1	4	77.63	80.22
岸 和 田 北	27	27	0	0	0	0	4	100	100	和 歌 山	75	74	0	3	0	4	4	89.01	86.19
岸 和 田 南	21	20	0	1	0	2	4	92.50	92.59	和歌山アゼリア	42	42	0	1	0	1	4	81.54	84.17
粉 河	19	19	0	0	0	0	3	100	97.58	和 歌 山 東	55	54	0	1	0	2	4	96.68	98.74
高 野 山	22	23	0	1	0	0	4	97.50	95.95	和 歌 山 城 南	38	40	1	3	0	1	4	90.71	91.16
串 本	9	11	0	3	0	1	4	68.18	71.46	和 歌 山 北	49	47	0	1	0	3	4	72.22	74.50
松 原	36	36	0	0	0	0	4	94.57	88.04	和 歌 山 南	86	89	0	6	1	3	4	86.84	86.61
松 原 中	25	26	0	3	0	2	3	92.31	77.50	和 歌 山 中	28	29	0	1	0	0	3	83.33	83.36
美 原	26	26	0	1	0	1	4	87.50	88.00	和 歌 山 西	22	22	0	0	0	0	3	95.45	95.45
那 智 勝 浦	20	21	0	1	0	0	4	75.00	71.49	和 歌 山 東 南	37	42	0	5	0	0	3	87.50	87.81
大 阪 金 剛	29	31	0	3	1	1	4	78.78	85.32										

クラブ	7月1日クラブ会員数				2月末クラブ会員数				2月平均 出席率	入会		退会	
	男性	2229	女性	128	男性	2209	女性	138		2月	累計	2月	累計
73	2357				2347				84.26	3	90	6	88

4 月 ローターリー雑誌月間 (Magazine Month)

1日	(水)		
2日	(木)	ロータリー・リーダーシップ研究会	JR和泉府中駅前 うお健ビル
3日	(金)		
4日	(土)	第5回諮問委員会	JR和泉府中駅前 うお健ビル
5日	(日)	新旧役員エレクト研修会	
6日	(月)		
7日	(火)		
8日	(水)		
9日	(木)	第4回ライラキーマン会議(現地地下見会)	集合場所:ダイワロイネットホテル玄関前
10日	(金)		
11日	(土)	和歌山北RC創立 30 周年記念式典	ホテルグランヴィア和歌山
12日	(日)	有田 2000RC創立 10 周年記念例会	橋家
13日	(月)	地区大会記念ゴルフ大会	泉ヶ丘CC
14日	(火)		
15日	(水)		
16日	(木)		
17日	(金)		
18日	(土)	IA委員・顧問会議	精華高校
19日	(日)	米山奨学生オリエンテーション	テクスピア大阪
20日	(月)		
21日	(火)		
22日	(水)		
23日	(木)		
24日	(金)		
25日	(土)	地区大会	リーガロイヤルホテル堺
26日	(日)	↓	↓
27日	(月)		
28日	(火)		
29日	(水)		
30日	(木)		

国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁 23 サイバーリンクス N-4 ビル 2F

T E L (073) 4 2 8 - 2 6 4 0

F A X (073) 4 2 8 - 2 6 4 3

E-m a i l info@rid2640g.org

U R L <http://www.rid2640g.org/katsuno/>

勤務時間 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)

S T A F F 代表幹事 桃田 隆彦

事務職員 山本千恵子 平田有紀子

ガバナー事務所 臨時休暇のお知らせ

4月27日(月)は休みとなります

*GW休暇はカレンダーどおりです

